

委員長 それでは、質疑が終わりましたので、採決に入りたいと思います。採決の前に御意見のある委員は挙手をお願いします。ないですか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、採決に入りたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

採決に入ります。令和8年度松田町一般会計予算につきまして賛成の方の挙手を求めます。

ありがとうございます。賛成全員です。令和8年度松田町一般会計予算については、賛成全員で可決すべきものと決定いたしました。

お諮りします。報告書の作成について、どのような形にしたらいいでしょうか。御意見のある方はお願いします。

平野委員 先ほどこの採決の前に意見と言ったときはみんなシーンだったんですが、いろいろ議論を聞いていて、御意見が多少はあるのではないかなと思うんですけども、もう一回聞いていただいて、それでなければ正副にいきなりお任せするのもちょっと変だなと思うんですが。

委員長 変です。

平野委員 ねえ、変ですよ。ちょっとこれはぜひ何ていうか、重要ポイント。

委員長 皆さんの問題。

平野委員 思われるものを挙げていただければと思いますが。何ていうか、重要ポイントをね、挙げていただければと思いますが。

委員長 皆さんの問題。ちょっとすみません。皆さんにお伝えしたいと思います。冒頭、私がお話しするときに、今回開催に当たって、特に特記事項、政策面で重要なことは最後に附帯意見として入れなければいけないと、そういった視点でも今回の予算審査特別委員会に取り組んでいただきたいというふうに、私、注文させていただきました。

皆さん、今回出たいろんな審議内容について、皆さんなりに思いの丈があると思います。それをお伺いして、特記事項として、附帯意見に入れるもの、これを皆様から提案した後に休憩時間をいただいて、正副委員長で具体的に詰める

と、またそれを休憩後に皆さんにお諮りすると、このような進め方をしていた
だきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声多数)

ありがとうございます。それでは、特記事項として入れたい内容、事業名と
それに対してこういうふうにしてほしいということを意見を頂きたいと思いま
す。よろしくお願いします。

飯 田 委 員 長 まずは、最初にですね、やっぱり一番大事なボトルドウォーターの事業化の
件だと思うんですね。それをいい形で入れてもらいたいと、失敗は許されない
というふうなことですね。というのは、今まで私も一般会計の質問を終わったと
言ったんですけど、みんな見込み違いしているわけですよ。このデマンドバス
にしてもそうだしね。それと、こういうことはもうね、何回も何回も繰り返さ
れちゃうと、もうね、信用を町に対してなくなるからね。もう三度目の正直で
さ、もうこれだけは絶対に後戻りが許されないというふうなことですよ。

あとはデマンドバス辺り、今ちょっと聞いた話だと、何かデマンドバスがな
くなっちゃいそうな話ですよ。だから、その辺を皆さんがどういうふうに共
有して、附帯項目に載せるかということをやちょっと考えなきゃいけないのかな
と思います。

委 員 長 飯田委員、ありがとうございました。ボトルドウォーターの件は、私も質問
しておりますし、皆様からもいっぱい出ましたので、これは少し正副委員長で
詰めたいと思います。

飯 田 委 員 長 お願いします。

委 員 長 2点目のデマンドバス、これについてももう少し皆様の意見をお伺いして、ど
ういうふうに附帯意見として報告するかと。これについて議論していただきた
いと思います。よろしくお願いします。

飯 田 委 員 長 いいですか。さっきの話を聞くとね、鎌田さんの話を聞くと、何か交通会議
で決定したいというふうなことで、何かそっちへ投げちゃっているような感じ
ですよ。だから、デマンドバスをそのままこの1,000万の中で運用するのか、
あるいはそれをなくしちゃって路線バスをちょっと遅くまで1便、2便増やし

てもらおうのかって、まだはっきりしていないわけですよ。その辺を寄地区の町民の足を困らせないような形で、うまく、何か言葉としては分からないですけどまとめてもらえればね、一番大事なのはやっぱり足だと思うんですよ。町民のデマンドバスに対する、何ていうのかな、3年で打ち切るんじゃないし、まあここで試用期間は終わったわけですよ、3年間の。じゃあその後どうするかというのは、交通会議へ投げかけられると思うんですが、そんなこともやっぱりデマンドバスを必要としている者があればね、あるいはデマンドバスに代わるようなものをやっぱり町のほうとしては考えてもらわなきゃいけないと思うんです、引き続きね。

委員長 どうでしょう。すみません。ちょっと委員長の立場でお伺いしたいんですけど、今回デマンドバスはあんまり議論に出てこなかったよね、特別委員会で。

飯田委員 特別委員会。

委員長 うん。

飯田委員 だけど、予算にしているんじゃない。

議長 私は広域化という視点で言ったんですよ。

委員長 うん。で、今のをまとめると、一つが、係長のあれで、地域交通会議に諮って決めるよと。で、町長も実際にそうなんですけれども、それは町とは別に地域交通会議で行っているんだと。あとはいろんな未払いもあるんだけど、これについては町は契約上でやっているというのが一つ大きいポイントになっていると思うんですよ。

地域交通会議に委ねていいものなのか、町として関与するか、その辺の整理の仕方です全然書き方が変わってくると思うんですよ。その辺についてちょっと議論をしていただきたいと思います。どういう書き方をするか。結構広範囲なんで。

北村委員 ちょっといいですか。

委員長 はい、どうぞ。

北村委員 ちょっとうる覚えのところで申し訳ないんですけど、地域公共交通会議のオーケーが出ないと乗合バスって走らせられないんですよ。これは国土交通省

の決まりで、そういうルールなんで、地域公共交通会議で皆さんの同意を求めてくださいねという感覚。なので、そこは決裁手段で、決裁の機関としてオーケーを出さないと動けないんで、事務局として町はやってるのイメージなんですよ。だから、多分、委ねるといっか、データをまとめて提案して、そこで皆さんがいいですよで、初めて国交省の許可もらえる、そんな流れですね。

委員長 ということは、地域交通公共交通会議で決定するから、そちらと調整して、交通空白地帯を生まないような、そういうことを進めてくれと、そういうイメージでいいですかね、感覚的にはね。

北村委員 はい。そこに何かくっつけるとすると、この3か年の実証実験のデータを基に、松田町のあるべき公共交通施策をみたいイメージなのかなと思います。以上です。

委員長 分かりました。

北村委員 実証実験自体は終わっているんで、しっかりできているので。

委員長 はい。取りあえずたたき台をつくる資料になりますので、承ります。ほかに何かありますか。今、2点出ました。

武尾委員 附帯事項になるのがよく分からないんですけど、取りあえず、とにかく今回かなり投資型の予算なので、必ず成果指数なり、投資の費用対効果なりは常にチェックしてよというようなことを付け加えたらいかかなと思うんですが。

北村委員 大事ですよ。

委員長 具体的にはどうなのよ、事業名、大きい事業名を出して意見を言ったほうが分かりやすいですか。総花的だけだと、いろんなケースがあるから、どうですかね。

武尾委員 そうしますと、やっぱりさっきの私のボトルドウォーターだよ。についてはという書き方なのか。

北村委員 今回の多分投資型で回収がとかっていう話、今の話だと、スポーツツーリズムの部分もそうですし、あと長寿命、健康寿命何とかモデル、あれも最終的には投資型の回収していくよという事業なので、地方創生に関する事業は、今、この3つだと思うんですよ、大きい。この3つは来年度の軸だとは思いま

すので、そこを入れていただければと思います。以上です。

委員長 では、もう一点私から提案させていただきます。やはり都市計画決定して、再開発が動いてきていますよね。その件に関して、特に再開発組合はそちらに委ねていますよね。で、町は補助金を出す。ただ、その辺がうまく組合と連携して進めてほしいと、何かそういった言葉をもう向こうは組合がやるんだからいいんじゃないかと、やっぱり駅広と自由通路というのは町の事業ですからね。それと連携しなければいけないから、何か再開発問題を入れたいということで言いますと、6点になります。

ここでお諮りします。1番目がボトルドウォーターで、2番目がデマンドバス、3番目が、ごめんなさい、スポーツツーリズムで、4番目が健康寿命型何とか何とかで、5番目が今言った再開発で、通常はまあ三、四件だよ。この5件で行くか、三、四件に絞るか、これを皆さんにお諮りしてよじめと思います。よろしくをお願いします。

飯田委員 5点も6点も書く必要はないんで、例えば3つぐらいに絞ってね、じゃあその絞り方をどういうふうにしようかといったら、今5つ候補が挙がってたら、挙手でね、多いもん順に5点、3点選んだらどうかなと思うんですよ。もう私の考えとしては、ボトルド何とかというの。

委員長 うん。ボトルドウォーター。

飯田委員 それとあと、やっぱり再開発は入れなきゃやっぱりいけないかなと思うしね。それとあとデマンドバス、地域交通何とかってね、あの3点ぐらいかなと思うんだよね、大きいのはね。

委員長 はい。ありがとうございます。今の飯田委員のことをもう一度復唱しますと、一つ目がボトルドウォーターで、デマンドバスと地域交通会議は同じものです。ですから、デマンドバス、地域交通会議の関係で一つ書くと。それと再開発。今、3点提案ありましたけれど、これについて御意見いかがでしょうか。

北村委員 ボトルドウォーター、失敗しちゃいけないよという多分話だと思うんですよ。それと並列に観光、スポーツツーリズムもそうだし、長寿命モデルのほうもそうなので、並列でボトルドウォーターが観光ツーリズム、スポーツツーリズム

か。で、長寿命モデルについては想定のとおり動かすように努力されたいみたいなの、並びで続ければ……

平野委員 3つまとめちゃえばいいんじゃない。

北村委員 3つまとめちゃえば。

委員長 はい。ちょっと待ってください、お待ちください。北村さん、いいですか。
はい、どうぞ。

飯田委員 ただね、附帯項目だから、あんまりくどくど書いちゃいけないと思うの。やっぱり相手に伝わるように書かなきゃいけないんで、きれいにさっぱりね、ポイントだけを要点をまとめて載せるというのは原則だからさ、やっぱり再開発はね、やっぱり載せなきゃいけないところだよ、北口はね。それとその3つぐらい絞られちゃうのかなと思うんだけど。

委員長 私のほうから。正副委員長に今の状況で委ねられても1時間で書けない。今のその併用して、スポーツツーリズム、健康寿命、結構大変ですよ、これ。で、やっぱり分かりやすく書くには、短めで分かりやすくする何は、飯田委員が言われるように、3つぐらいの今のボトルドウォーター、デマンド、再開発で私はいいいのかなということ。

北村委員 じゃあ、それで。

委員長 委員長の能力低いもので、すみませんが、よろしくお願いします。

北村委員 いや、そんなことはないですよ。大丈夫です。

平野委員 事業名で言うと新モビリティサービス推進事業ってあって、今回、この中にはAIデマンドって出てこないんですよ、言葉が。だからそこがとても微妙ですよ。

委員長 じゃあ、すみません。平野委員も議運の委員長なんで、正副委員長プラス、議運の委員長さんで、今のその件でアイデアをいただきながら素案をつくりたいんで、御協力お願いします。時間の関係もあるんで、効率よくやるにはそれが一番いいのかなと思います。

はい。よろしいですか。

では、そのようなことで暫時休憩とさせていただいて、少しこれ時間かかり

ます。どんな早くても4時30分にはできないと思います。よろしく願いいたします。
(15時56分)

委員 長 休憩を解いて再開いたします。
(16時46分)

正副委員長並びに議運の委員長と腹案を作成したものをただいま机上配付、案ということで配付させていただきました。

それでは、局長、この案について朗読をお願いします。

議会事務局 長 令和8年3月9日、松田町議会議長、南雲まさ子殿。

一般会計予算審査特別委員会委員長、田代実。

一般会計予算審査特別委員会報告書。

本委員会は、3月9日に委員11名中10名出席のもとに、役場4階大会議室において委員会を開催し、令和8年第1回議会定例会において付託された議案第15号、令和8年度松田町一般会計予算について慎重に審査しましたので、次のとおり報告します。

記

1、審査の結果。採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

2、審査の内容。歳入については一括、歳出については各款ごとに審査しました。予算執行に当たっては、次の事項について申入れをします。

1、ボトルドウォーター生産施設整備事業の指定管理業者との契約は、リスク管理を最大限考慮したものとされたい。

2、新松田駅北口地区市街地再開発事業と南口駅前広場の整備は、交通の拠点として一体的にその機能を発揮するとともに、バリアフリー化を推進されたい。

3、地域公共交通については、3年間の実証実験を踏まえ、運行管理を明確にして推進されたい。

委員 長 もう一回。

議会事務局 長 すみません。運行課題を明確にして推進されたい。

委員 長 今朗読したとおりですけれども、いかがでしょうか。

(「なし」「よろしいかと思います」の声あり)

ありがとうございます。一番下の3番の点がね、1行目に2つなんだけど、これがちょっと気になるんだけど、どうでしょうかね。必要ですかね、2つ。
3、(3)一番最下段、地域公共交通に「ついては、」の点と、その後に「踏まえ、」の点、何か一つにしたほうがすっきりするかなという感じ。根拠はあんまりないけど、見た目で。

吉田委員 これ、いいんじゃないですか。

委員長 はい。

吉田委員 それであれば、「ついては、」のほうの読点を削って、「踏まえ、」までで
いったらいかがでしょうか。

委員長 いかがでしょうか。「は、」を取るということで。

北村委員 そのままでいいと思います。

委員長 このままでいいですか。はい。では、そうさせていただきます。
ほかに何か御意見ありますか。

古谷委員 前文のところの3行目、年が抜けてますね。

委員長 3行目。

古谷委員 令和8年。

委員長 令和8年。ありがとうございます。

8年度の年度、松田町一般会計予算、はい。

北村委員 すみません。ちょっと1件だけ。3番の地域公共交通なんですけど、3年間
実証実験は間違っていないんですけど、これ10月から運行が始まったんですよ。
で、3月までなんで、3年間でと言えるのかなと。

委員長 3か年度、3か年度。

北村委員 まあ、そういうその3年間ではないなというところ。

委員長 先に。

北村委員 ごめんなさいね。

委員長 北村さんが言われたからじゃないよ。3か年度。

北村委員 3か年度というんですか。そういうイメージです。

委員長 そうすれば10月だっていいわけだから。

北村委員 3か年度。

委員長 3か年度。

飯田委員 ちょっといいですか。1番のさ、ボトルドウォーター生産施設整備事業の指定管理業者との契約はってなっているんだけど、指定管理業者というのを入れるのはちょっと早いのかなと思うんだよね。それで、頭にね、ここに、目的等を書いてあるんだけど、地域未来交付金を活用し、ボトルドウォーター生産施設整備事業の契約は、リスク管理を最大限考慮したものとされたいというのが無難じゃないかなと思うんだけど。

委員長 では、まずこの1番についてお答えします。指定管理者は、町長がもう明言してます、もうこれでやるんだと。我々は予算の執行権は認めれば、あとは町長の裁量でやり取りの中で何回か出てます。そういったことで指定管理者にするメリットもお伺いしてますので、あえて入れさせていただきました。

いかがいたしましょうか。

北村委員 ボトルドウォーターのところですよ、多分ね。

委員長 うん、そう。1番のもう一度飯田委員の腹案をちょっと読んでください。

飯田委員 いいですか。まず、地域未来交付金を活用したボトルドウォーター生産施設整備事業の契約は、リスク管理を最大限に考慮したものとされたい。事業を契約まで消しちゃったらいいのかな、消すんだったらね。生産施設整備事業のリスク管理を最大限考慮したものとされたいというふうに変えたらどうかなとは思っているんだけど、まあどっちでもいいですけどね。

委員長 すみません。ここは、私も一般質問でも年度当初の予算でも説明いたしましたし、本日もあえて発言したのが、やはり契約に基づいてリスク管理ができる。だから、何か途中で抜けたときに、補償問題はどうなんだよということで、契約の際にはしっかりその途中で、あそこの中では倒産とか業者の事情ということで、途中で離脱したときに、そのお金をどうしてくれるんだということをお話ししたと思うんだ。それは全て契約書です。

町長もこれとは違ってバスのほうの関係で契約に基づいてやっているんだよ

ということになりますから、私はここは契約を入れたリスク管理というのは絶対必要だと思います。そういうことでこれはぜひ入れさせていただきたいと思います。あと、頭の未来何とかのあれって、あったけど、その関係はないほうがすっきりするし、それでいいのかなと。

そうすると、飯田委員と、これは私の提案でこれをつくらせてもらった1番について、大体同じ内容じゃないのかなと。契約を入れるかどうか、その辺でちょっと皆さんに議論をいただきたいと思います。

寺嶋委員 確かに業者はやるんですが、この場合は指定管理者という、普通に考えれば、指定管理者制度に付託という形で委託するわけだから、指定管理者です。業者じゃないんじゃない。

委員長 そうか。指定管理者。

寺嶋委員 業者がやるんだよ、確かに。

委員長 はい。指定管理業者じゃなくて指定管理者、はい。

北村委員 それはそうだと思う。

委員長 あとほかにはどうですか、1番。

では、1番、私が読み上げます。2番目に、飯田委員で読み上げてもらいます。それで採決取らせていいですか。それとも、それでもう一度議論して、採決じゃなくてどちらかに決めると、そういうのが民主的かなということで、よろしいですか。

平野委員 飯田委員は、指定管理者というのが、ここにぽんと出てきちゃうのはどうなのかという御意見なんですよ。

飯田委員 そう。まだはっきり決まったわけじゃないじゃん、町長は言っているけど。

平野委員 ただ、これは民でやるというのははっきり言われたので、公設民営だということをはっきり言われたので、町が直接、例えば職員がここに張りついてやるとかそういうんじゃないというのは言われているので。指定管理者という言葉がちょっと早いんじゃないかと思うなら、事業者とか、何かそういう言葉に変えるという感じですかね。でも、それだと余計なんかもう。

委員長 うん、いいね。事業者でもいいじゃないの。要するに、はい、どうぞ。

吉 田 委 員 町のこの資料からでは、そののところというのは、設備利用事業者という言葉を使っています。

平 野 委 員 ああ、確かに確かに。事業者でいいですか。

委 員 長 じゃあ、それでいくか。頂いた資料で。指定管理者ではなくて、今もう一度吉田さん、読んでください。設備……

吉 田 委 員 設備利用事業者という言葉を使っています。

委 員 長 設備利用事業者。

吉 田 委 員 ちょうど裏、裏の面の真ん中辺りでそういうふうな言葉を使っています。

委 員 長 そうだね、無難だよな。

では、ちょっと読み上げさせていただきます。1、ボトルドウォーター生産施設整備事業の設備利用事業者との契約は、リスク管理を最大限考慮したものとされたいと。

いいですか、飯田さん。

飯 田 委 員 いいです。

委 員 長 はい。では、折衷案ということで、これで固めさせていただきます。

飯 田 委 員 お願いします。

委 員 長 2点目、これはこのままでよろしいでしょうか。

飯 田 委 員 はい。

委 員 長 3点目、読み上げます。地域公共交通については、3か年度の実証実験を踏まえ、運行課題を明確にして推進されたい。以上でございます。このようなことでよろしいですか。

(「はい」の声多数)

委 員 長 はい。では、あと、ここね、てにをはとか、若干よく出ることがあります。それについては、正副委員長、または議運の委員長了承の職権で若干変えるかもしれません。それは御了承ください。

(「はい」の声多数)

委 員 長 ありがとうございます。

では、今日は朝から長い間、御議論いただいて、何とか皆様の協力で無事委

員会が終了することになりました。

以上、この報告書を13日の本会議で報告させていただきます。

本日は長時間にわたり審査ありがとうございました。これをもちまして、一般会計予算審査特別委員会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

(16時57分)